

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	4.市民音楽ホール施設整備費				館長	
項	5.社会教育費	細事業名					主査	
目	5.音楽ホール費	担当課・係	市民音楽ホール	(執行課: 市民音楽ホール)			担当	
							連絡先	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	1,661	要求									1,661
決定額			決定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/市民音楽ホールの施設について、安全性を最優先に必要な改修を行う。						
	【音楽文化資料の収集・展示に関する業務】	施策体系コード	03-05-01-10-10			事業番号	58-1		
	音楽文化の普及促進のため、音楽文化資料を収集し、資料の展示・貸出しを行います。	総事業費	33,431千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			936	0	25,000	5,834	1,661		
		(事業実施に関する根拠法令)							

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 音楽ホールの施設及び備品について、その機能や安全性を確保するための点検及び修補を行う。	(事業の目的) 施設及び備品の適正管理により、施設利用者の利便性と安全性を確保する。	(事業の効果) 施設及び備品の整備により、施設利用者の利便性と安全性が確保される。
(事業実施上の問題点) ホール内壁の修繕にあたっては、当ホールの最大の特徴である残響1.8秒を損なわない施工が必要である。したがって、単独の修繕として考えるのではなく、ホール全体を一つの作品とし、その一部を修繕するとの考え方に基づいた施工が必要である。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 当ホールの音響特性、施設及び設備は、内外の演奏家と利用者から高く評価されており、それが音楽事業を25年間継続してきた原動力の一つとなっている。よって、修繕を行うにあたっては、ホール全体を包括的にとらえた施工を実施し、演奏家と利用者の期待にこたえることのできるホールを維持したい。